

第4回 須坂市総合計画審議会 会議録（要旨）

1 会議名

第4回 須坂市総合計画審議会

2 開催日・場所

開催日時 平成22年8月3日（火） 午後1時30分から午後3時20分

場所 市役所東庁舎3階 第四委員会室

3 出席者

(1) 委員

小澤 吉則委員、土本 俊和委員、小山 せつ子委員、石原 洋子委員、日向野 靖司委員、勝山 敏雄委員、返町 惇委員、吉池 武委員、松井 あさ子委員、神林 清治委員、越 信子委員、黒岩 七女委員、山際 荘一委員

欠席者

遠藤 守信委員、太田 哲郎委員、中野 博勝委員

(2) 幹事

副市長、総務部長、健康福祉部長、市民共創部長、産業振興部長、まちづくり推進部長、会計管理者、水道局長、教育委員会次長

欠席者

消防長、議会事務局長

(3) 事務局

政策推進課長、政策推進課長補佐、政策推進課職員

4 配布資料

資料1 第五次須坂市総合計画・前期基本計画原案

資料2 国土利用計画（須坂市計画）原案

資料3 遠藤守信会長への資料説明に対してのご意見要旨

資料6 第五次須坂市総合計画 基本構想 将来像案（第4回専門部会配付資料）

5 審議状況（会議事項）

(1) 開会

政策推進課長：

ただいまから須坂市総合計画審議会を開会いたします。

審議事項までの間、進行役を努めます。よろしく願いいたします。

本日の会議について、遠藤会長、太田委員、中野委員から、欠席の連絡を受けておりますのでお知らせいたします。

会長欠席のため、小澤様に会長職務を代理していただきますが、よろしく願いいた

します。

まず最初に、副市長の井上より一言ご挨拶させていただきます。

(2) 副市長あいさつ

副市長：

こんにちわ。

本日はお忙しい中、お集まりいただきました誠にありがとうございます。

これまで専門部会で様々なご議論をいただきましたが、本日はそのご議論を踏まえました原案のご審議をしていただきたく存じます。事務局としましては、皆様のご意見を取り入れた形で本日原案資料をお示しいたしますが、全体的に見まして総合的な視点からご審議いただきたいと思ひます。

宜しくお願ひ致します。

政策推進課長：

会長職務代理の小澤様より一言ごあいさつをお願いいたします。

(3) 会長職務代理あいさつ

会長職務代理：

本日は遠藤会長ご欠席のため代理を務めさせていただきます、小澤でございます。

振り返りますと、前回第3回は冬の寒い時期での開催依頼の全体会となります。その間、各専門部会で専門的な視点でご議論いただきました。

本日は、パブリックコメント前の計画取りまとめが出来上がってきていますので、各専門部会での審議結果報告の後、その審議内容を反映しました計画原案を最終チェックしながらまとめていきたいと思ひています。

本日も積極的な議論を賜ればと思ひます。

政策推進課長

ありがとうございました。

本日は全体会の再開1回目ですので、委員の変更を報告させていただきます。

須坂市区長会 副会長の返町 惇様、須坂市保健補導員会 会長の松井 あさ子様、本日ご欠席ですが、須高地域の高校を考える会の中野 博勝様です。

それでは、審議事項に入らせていただきます。進行を小澤様にお願いいたします。

(4) 審議事項

① 総合計画審議会専門部会審議報告

会長職務代理：

では、次第の項目に沿ってすすめてまいります。審議事項（1）総合計画審議会専門部会審議報告について、各専門部会長より報告をお願いいたします。

まず、安心・安全部会の小山部会長お願いいたします。

委員：

安心・安全部会では、石原委員、吉池委員、山際委員、保健補導委員会より清水委員と後任の松井委員と私の5名で審議しました。

安心・安全部会の基本的な考えですが、生命に直結した分野と意識しています。

日頃の体制と、緊急時にどう対応できるかが鍵になります。保健補導員会などのように須坂は他県から推進的な仕事をしていると聞いたこともある、モデル的な取組みは積極的にすすめていくべきです。

市民目線に立ったまちづくりができる計画とするために審議しました。

安心・安全部会担当範囲は、福祉、子育て教育、医療、防災防犯についてで、担当した基本目標の範囲は、「第1 みんなが助け合い、健康に暮らせるまち（健康・福祉）」「第2 子どもたちが未来に夢をもてるまち（子育て・教育）」「第3 豊かな自然あふれる地球環境を守り、安心して安全に暮らせるまち（環境、安心安全）」のうち、安全に暮らせる生活支援の各施策を担当しました。

出された主な意見では、次のような意見がありました。

施策1「健康づくりの充実」については、健康づくりには「運動」「栄養」「休養」が必要だと取組んでいる。「運動」「栄養」だけでなく、こころの健康やストレスなども含め「休養」についても共通させて述べては。

施策1のうち、「こころの健康づくりの輪を広げる」については、全国的に自殺者が増えている。生きがい対策等で入れてもいいのではないか。検討してください。心の病 自殺者だけでなく広く対象とする内容を取り上げていただきたい。といった意見が出ました。

施策3「みんなで助け合う福祉」については、

「家族が介護認定を受けるためには、市への介護認定の申請、医師からの意見書提出が第一歩であり、自分から動いて申請しなければならないことを啓発し周知させることが必要。それが介護を受ける側、施す側もレベルアップにつながると思う。」

「ボランティアだけではなく幅広く、隣近所や地域のつながりを助け合いおこしが必要。

今後もその地域のつながりは重要となる。」などの意見が出ました

施策4「高齢者福祉の充実」については、

「高齢者の認知症、一人暮らしの関係が非常に重要であると思う、孤独死については、孤独死を防ぐ地域社会づくりが重要、孤立化させない社会を目指していただきたい。」

「認知症サポート体制について、家族も含め本人の住む場所を具体的に述べていただきたい。」

「急速に進む高齢化の中で、高齢者の健康増進や生きがい、介護予防、ひとり暮らしとそれぞれについて述べるべき。」などの意見が出ました。

施策7「特色ある魅力的な学校づくりの推進」については、

「児童生徒の基礎学力向上とあるが、基礎体力の向上も入れていただきたい。」

「『自分の身は自分で守ることを教える』ことも入れていただきたい。」

「IT社会の進展に伴いインターネット等の犯罪や問題についての対応、啓発運動など何か教育の場でも取組みが欲しい。」などの意見が出ました。

施策9「子育て環境の整備」については、

「就園前の子育ての親の不安に対する取組みが必要。」

「保健補導員会でも子育て支援の取組みを行っている。地域での方が参加しやすいという意見もいただいている。」などの意見が出ました。

施策18「消費生活の安全」については、

「防犯意識の啓発について、振り込み詐欺の被害が一向に減らない、対応について明記していただきたい。」などの意見が出ました。

将来人口については、

「後期高齢者人口は今後更に増加してくる。この施策を何とかしない限りは、53,000人は現実的ではない。平成32年度の目標50,000人台に向け、27年度最終年の前期重点プロジェクトの目標値が50,000人で、総合計画の折り返し地点で進ちょく状況を見極めて、また次の目標に掲げるという意味では27年度の51,100人のところが修正可能な目標値で、ちょうどみんな自分自身の目標意識になりやすい目標値かと思う。」との意見が出ました。

前期重点プロジェクトについては、

「『生涯健康都市プロジェクト』の目的に、「健康で暮らし続けよう」とあるが、「健康で豊かに暮らし続けよう」としてはどうか。ただ身体的に健康であっても、精神的な不安や緊張を取り除き身体的な健康だけではなく、本当の健康は心身ともに健康であり、家庭や学校、地域でも不安や緊張をなくして、おらかなことが健康であると思う。」

指標設定については、

「市民にとってできるだけ知りたい、分かりやすいものを指標に入れるべき。施策・取組み内容と連動させるように。つまらない指標が入ったことで、計画内容が軽くなってしまふ、精査すべき。」

等の意見が出ました。以上です。

会長職務代理：

ただいま部会長より報告がありましたが、ご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。

ご意見よろしいでしょうか。続いて、元気部会の審議報告をいたします。

委員：

元気部会では、日向野委員、神林委員、太田委員、中野委員と私の5名で審議しました。

元気部会の基本的な考えですが、「みんなの行動で須坂市をにぎやかにしていくまちづくり」を理念に置き、人口増のまちづくりと人づくり、戦略産業の集積づくりということで、まさに本審議会の中核的な議論をする分科会というふうに考え審議しました。

元気部会の担当範囲は、

- ・人口増のまちづくり
- ・戦略産業の集積づくり
- ・産業人材づくり
- ・研究開発型農業・企業集積

・農商工観連携

等で、基本目標の範囲は「第2 子どもたちが未来に夢をもてるまち（子育て・教育）」
「第5 活力あふれるまちづくり（産業振興）」を担当しました。

出された主な意見では、次のような意見がありました。

施策7「特色ある魅力的な学校づくりの推進」については、

「須坂を好きになる教育の推進で、郷土について冊子を使い授業を受けたが、須坂市の歴史や産業がよくわかったので冊子を作って教育の中で使っていただきたい。」という意見がありました。

施策22「農業の活性化」については、

「エコファーマーについて述べているが、人数としては1,000人を超えたが、実際の販売方法となるとその取組みが反映されていない。それはおそらく農産物のブランド化を進めるアドバイザーなどと密接に関連することで、課題もクリアされるのかと思う。この点を明記していただきたい。」「須高地区は果樹を作ってきた歴史はあるが、なぜブランドがないのか。商品を作って売るにはブランド化という付加価値が大切である。」という意見がありました。

施策25「新産業創出・企業立地の推進」については、

「日滝原産業団地を完売することは市全体で取り組むべき最優先事項である。県の団地だから県任せではなく、須坂の人口増加に寄与する大きなポイントである。」「ぜひ市内企業ニーズを把握し方向性を見出すことで、企業誘致のための新規産業団地造成に限らず、実際手狭になった地元企業のためにも造成する意向を計画に反映していただくというのではないか。」という意見がありました。

施策26「商業の活性化」については、

「今後はやはりハードではなく一店一店がどのようにしたら売れるのかということで、細かい配慮により結局大きな商店街の活性化になるのではないか。ソフト面の支援を引き続き強化すべき。という意見がありました。

施策27「観光産業の振興」については、

「新たな産業観光の創出により、交流人口の増加につながる。」

施策29「雇用機会の充実と産業人材の育成」については、

「須坂は人を産業と考え、人を育てることが重点ではないか。幅広く子供に経験させ、頭ではなく身体で体験させることを重点的に考えるべきではないか。」等の意見が出ました。

代表的な意見を紹介させていただきました。

会長職務代理：

ただいま報告いたしました。ご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。ご意見よろしいでしょうか。続いて、交流部会での審議報告をお願いいたします。

委員：

交流部会では、勝山委員、越委員、黒岩委員、区長会より和田委員と後任の返町委員と私の5名で審議しました。

交流部会の基本的な考えですが、総合計画の担当範囲に加え、須坂市に土地に関する

長期的なビジョンである国土利用計画（須坂市計画）の内容についても審議した。

人口が急激に減るとか、だんだん減っていくということにならないようにするには、子どもが生まれて育っていく環境を整えなければならないという視点で、幅広く、地方都市として、今後力を入れるべき方向について審議した。

地方都市の今後のあり方を定めていく上で非常に重要な議論をする分科会というふうに考え審議しました。

交流部会の担当範囲は、

- ・文化創造のまちづくり
- ・地域資源の融合によるまちづくり
- ・環境都市づくり

等で、基本目標の範囲は、

第3 豊かな自然あふれる地球環境を守り、安心して安全に暮らせるまち（環境、安心安全）のうち、1 地球規模で考える自然環境の保全

第4 多様な文化を学び育て、交流する創造的なまち（生涯学習、文化振興、スポーツ等）

第6 みんなが快適に生活できるまち（まちづくり）

を担当しました。

出された主な意見では、次のような意見がありました。

第四次総合計画・後期基本計画の現状・課題についての意見では、「区の花については、須坂市という大きなくくりで、物事を考えるべき。」「アニマルセラピーの取組みは、自然環境、福祉や教育に広がっていくテーマで、須坂らしい。」などの意見が出ました。

全体を通しては、「共創という言葉もいいが、文中にもう少し須坂らしい言葉を使ったらどうか。」との意見が出ました。

施策42「情報公開、広聴・広報の充実」については、「広報（すぎか）も充実しているが、少し魅力が無い、広報を見ない人が多い。広報に工夫を凝らして、読みやすく、読まなければいけないようになればいい。いろんな人がより早く情報を入手できるようなシステムを作っていくことも大切。」

施策39「男女共同参画社会の実現」については、「職場によって産休育休を進めて、産前後、子育て前後の仕事が途切れないようにとか、もう少し盛り込むべきでは。」

施策41「地域振興の推進」については、「町並みキャンパスには信州大学だけでなくほかの大学からの参加もあるので、「大学等との連携」という項目を充実させて書いては。」

施策22「農業の活性化」については、「元気部会担当だが、環境、景観についてその地産地消と言うことも有休農地の解消部分に付け加えていただきたい。」

施策35「橋や道路整備の推進」については、「今無電柱化の工事が盛んだが、今まであった緑が少なくなってきた。基本的な姿というのは街に緑があるつくりにしていったほうがいいのでは。」

施策46「市民とともに歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり」については、「求

められる人材像を定義し、そうした職員を育成・確保する人材戦略は非常に重要と思い、専門化が進んでいる中、優先度ということで力を入れてもいいのでは。」

施策32「景観の保存と創造」については、「自然の景観、あるいは蔵の町並みといった歴史的な景観もあるが、工作物や建築物に対する景観育成ということ盛り込んでいけないか。」

施策11「環境を守る活動の推進」については、「市民がもっと環境に意識を持たないといけない。各町の環境を守る学習会の開催など。」

「将来人口について」の意見では、「50,000人に修正していただいたことでほっとするというかやればできるのではという安堵感がでてよかった。」「無理すると、問題が出て、かえって悪くなったということもある。すでに須坂でいい環境があるので、人口が少し減っても、うまくやっていけるだろう。」

「前期重点プロジェクトについて」の意見では、「女性の社会進出、特色を生かした地域振興の推進、須坂での色々な取り組みを見ていると女性の取り組みは町をまとめるステージが整っている。適材適所に女性を。」

「指標設定について」の意見では、「自分の行動範囲の中で、市外にPRする。須坂市民がPRの人材だということを考えていただければ、もっと広がり、架空ではなく実践につながる」

「国土利用計画（須坂市計画）について」の意見では、「新たな公共の担い手は、公共の新たな担い手に。」「人口減少に対する維持に対して数字を追いかけて計算するのはちょっと無理がある。コンパクト化と宅地化は相反し、住まいをどうやっていこうかと考えるべき。」「空き家申請みたいな形、畑をつぶして住宅にするということも将来人口を見通すには大事だが、空き家も新しい人に住んでいただく方法も考えていただきたい。」

等の意見が出されました。

会長職務代理：

ただいま部会長より報告がありましたが、ご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。

ご意見よろしいでしょうか。これら報告いただきましたご意見が含まれているということで、次の（2）第五次須坂市総合計画・前期基本計画案について、事務局から説明をお願いいたします。

② 第五次須坂市総合計画・前期基本計画案について

事務局：

それでは、（2）第五次須坂市総合計画・前期基本計画【案】につきまして、資料1に沿って説明させていただきます。資料3についても資料1の説明に折り込まさせていただきます。お手元の資料1について、全体構成と変更点を中心に説明させていただきます。

【事務局より 資料説明】

会長職務代理：

当初色々ありましたが、ひととおり指標も設定され、一目でわかる計画体系の一覧も入りました。

これまで専門部会でご審議いただきました内容も反映されたと思いますので、ご意見感想をいただきたいと思います。

委員：

専門部会での審議内容もすっきり整理された。数字も出され、分かりやすい内容となった。

委員：

分かりやすくなってきた。

委員：

内容が非常に分かりやすくなってきた。

資料3の遠藤会長のご意見は一言一言が非常に的確で重みもあり、共感できる言葉である。是非修正して盛り込んでいただきたい。

委員：

スピードが求められる時代に縦割りではなく、横串をさした横断的組織が必要という言葉は重要な言葉である。是非盛り込んでいただきたい。

委員：

まとまってきている。

まだ見直しは続けるそうだが、特に取組み指標は、市民のみなさんが知りたい、こうして欲しいという思いはあるので、できるだけ入れ込んで、分かりやすくしていただきたい。

総合計画の宿命かと思うが、資料を見るのも大変苦労した。書いてあることはごもつともだが、見るのが大変。言葉少なく、写真や絵などを入れて見やすくしていただきたい。

概要版などで見やすいものをつくる予定か。

事務局：

資料1は正規版になりまして、概要版も作成します。

内容も、中学生からお年寄りに分かりやすい内容を心がけて、引き続き作業をすすめます。

委員：

体系付けが分かりやすい。体系付けをして整理していただきたい。

委員：

専門部会での協議内容反映されて、整理されてきている。パブリックコメントで出さ

れた意見を大切にいただき、是非盛り込んでいただきたい。

委員：

市民意見も入れていただき、委員だけでなく市民のみなさんの意見も入って文章化してある。委員や行政だけでなく、市民のみなさんとでつくったという印象が伝わる計画になると思う。

委員：

行政の計画はこれまで難しい言葉を使って作るのが立派な計画だった。それをひっくり返して、分かりやすい言葉づかいで作っている、みんなで作り上げるという「共創」の部分すすめていただきたい。

委員：

保健補導員会としても計画を推進していきたい。

委員：

全体に数値化され、整理されたことで分かりやすくまとまってきた。指標も入って内容が理解しやすいが、進ちょく管理をしていくのは大変だと思う。

委員：

全体的にですます調で漢字を少なくひらがなを使い、漢字の多い役所の計画とは異なり分かりやすく表現している。レイアウトをプロの方と作るということで、内容的にも見た目にも親しみやすいものになるのでは。

資料編で用語集を入れていただくことにより、もう少し優しくするというで用語解説が入り、そこを見ることで知識を得ることができる。

委員：

委員のみなさんのご意見をまとめると、整理され、市民のみなさんの声も十分に入れていただき、数値化される中に見やすさもできてきた。今後実施するパブリックコメントを十分に反映し、引き続き整理し、中学生でも分かる内容にしていきたい。

③ 基本構想 将来像について

会長職務代理：

次は、ただ今審議していただきました計画も踏まえ、将来像という一番の根底となる内容について、キーワードやお考えについて議論いただきたいと思います。

(3) 基本構想 将来像について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

それでは、(3) 基本構想 将来像につきまして、説明させていただきます。

前回審議会専門部会で配付いたしました資料6をもとに説明させていただきます。

【事務局より 資料説明】

会長職務代理：

非常に多くの案をいただきましたが、キーワードとすると「活力」「文化」「活気」「元気」「健康」などが須坂にイメージされると思う。

議論の中で、良い悪いではなく、多くの共通認識の中で自ずと湧き出るものかと思えます。本日決定するものではないと思えますので、委員のみなさんのご意見を踏まえてご審議いただきたいと思えます。

本日出していただきましたご意見を踏まえ、事務局で作ったものを後日みていただくようなすすめ方になるかと思えます。

委員：

案1について。これまで「田園都市」という概念が最近出されているが、「田園環境都市」と混乱してしまう。具体的に「田園環境都市」の意味が分かりづらい、違和感ある。

英語の案があったが、日本語に併記して国際交流の観点からも併記するのも1つの案であるかとも思う。

過去のものを資料として載せていただいているが、復活させるというのも一つの考えでは。

委員：

案1あたりがよいのではないかと思う。

委員：

案2に、保健補導員会についてが述べられているが、大事だがこれだけが目につくのはどうかと思う。

案4の「みんなで一緒に暮らし続けたいまち すざか」と2の「躍動し続けるまち みんなが愛する健康都市」をうまく合わせてはどうかと思う。

委員：

案1が須坂らしさをコンパクトに言い表しているのでは。須坂らしさを表現する際には、マンパワーが活力の基になっていると思う。

委員：

子どもたちがの夢や希望を持つことが大事。未来を担う子どもの将来を考えて「幸せ」「元気」などが入っていた方が分かりやすいし、目標を持てると思う。

委員：

地球温暖化防止推進協議会では「田園環境都市」を表現に用いている。

案22に使われているが、強調していただきたいキーワードは、「人」「自然」を使つては。

委員：

案1が良いと思う。その他、案5にある「クリーン」は大切な考え方だと思う。環境都市でも「クリーン」には清潔、清純などの意味もあると思う。

委員：

委員に質問だが、部会の報告の中で「共創」という言葉が須坂らしくないと言っていたが。

委員：

「共創」は良い言葉だが、須坂のオリジナリティにならない。上田の方が言っても、松本の方が言っても使えてしまう。

委員：

私はむしろ「共創」が良いのではないか。共に創りだすは全てに通じるのでは。是非この言葉は入れてよいのではないか。

これまでの自治体の将来像では、あれもこれも言葉をつなげるのではなく、一言で言い表せるような表現でも良いのでは。「共創」だけとか、「共創のまち須坂」だけとか、インパクトがあり一瞬目を引くような表現をした方が良いのでは。

委員：

案1の「田園環境都市」という言葉に対しては違和感がある。将来像の説明があると意味も理解できるが、ワンフレーズで理解できる言葉を入れ込む方が良いと思う。

委員：

案15「今日も明日も生きるまち 須坂」過去や歴史も大事にしながら、より明日への希望を膨らませるという意味を持たせて単純明快の述べている。

案22「人と自然が響きあうまち 須坂」も良いのでは。

委員：

計画計画案を最初に開いた時に目につくのは、最初に基本構想として目につくのは「共創」で3つも出てくる。「共創」となはんだらうと何を言わんとしている「共創」使っているのかと思う。

言葉のきれいさでは案1でも良いのかと思う。

委員：

案3の「やさしさ」「活力」や皆さんからも出ています「共創」などのキーワードが須坂らしいかと思えます。

以上みなさんのご意見をいただきましたが、これを踏まえた素晴らしい力が湧いてくる将来像を事務局でご検討いただきたいと思います。

④ 国土利用計画（須坂市計画）【案】について

会長職務代理：

次の（４）国土利用計画（須坂市計画）【案】について、事務局から説明をお願いい

たします。

事務局：

それでは、(4) 国土利用計画（須坂市計画）【案】につきまして、資料に沿って説明させていただきます。

お手元の資料2に沿って説明させていただきます。

会長職務代理：

今回の国土利用計画は、都度各部会でご審議いただいた内容を踏まえてこの形になっています。

ご意見がありましたらどうぞ。

委員：

基本計画の方針の中でも、コンパクトシティを打ち出している。街であるところは街で、山であるところは山で、これ以上無意味に広げることはしないことは国土利用計画とも一致している。概念として貫いている。

会長職務代理：

審議事項は以上ですが、全体を通してご意見、ご質問はありますでしょうか。

議事はこれまでで、事務局にお返しします。

政策推進課長：

皆様からご意見ご質問などございますでしょうか。

なければ本日の審議事項は以上といたします。

(5) 今後の予定

政策推進課長：

事務局からは今後の予定を報告させていただきます。

8月中旬 庁内策定委員会（修正内容確認）

8月下旬 総合計画審議会委員へパブリックコメント用総合計画案の送付

9月 パブリックコメント実施

10月上旬 第5回総合計画審議会 パブリックコメント及び対応について

10月中旬 第6回総合計画審議会 答申案確認 答申

と予定しています。

事務局からは特にございませんが、ご出席の皆様から何かございますでしょうか。

ないようですので、以上となります。

ありがとうございました。

(6) 閉会

終了 午後3時10分

以上